

平成19年度 須田小学校 教育活動 全体計画

茨城県学校教育推進の柱

- 1 確かな学力を身に付ける
- 2 豊かな心をはぐくむ
- 3 健康や体力をはぐくむ
- 4 社会の変化に適切に対応できる
- 5 自立と社会参加をめざす特別支援教育

神栖市学校教育推進の重点

- 1 学力の向上
- 2 不登校児童生徒への積極的対応
- 3 地域や社会の変化への積極的対応
- 4 学校・家庭・地域社会との積極的連携
- 5 創意と工夫を生かした特色ある学校づくり

神栖市立須田小学校 教育目標

やさしく、かしこく、たくましい須田の子の育成

めざす学校像

明るく楽しい学校

- ・学ぶ楽しさ
- ・友達とふれあう楽しさ
- ・先生とふれあう楽しさ

実行委員会を中心にした、全校児童で行うあいさつ運動
児童集会・たてわり遊びを通したふれあい

温もりのある学校

- ・助け合い、思いやり
- ・協力し、安心して生活

校内内外の愛校作業をたてわり班で実施
登下校の安全確保
・教職員による巡視・立哨指導
・「須田っ子を守る会」のボランティア

開かれたさわやかな学校

- ・さわやかなあいさつ
- ・美しい環境
- ・望ましい信頼関係

学校だより・学校Webページを利用した積極的な情報公開
教職員・保護者・学校評議員による学校評価の実施
PTAボランティアによる学校環境整備

めざす児童像

思いやりがあり助け合う子 (徳育)

みんなのことを考えて助け合い、協力して行動することができる。

豊かな心育成対策委員会の設置

「豊かな心の育成」を職員研修の柱とし、全職員で具体的手だてを研修
たてわり班活動の充実(月1度のたてわり遊びや奉仕作業の実施)
さわやかマナーアップ運動の一環として「あいさつ運動」の重点化
「須田っ子賞」の設定
学級活動の授業研究
家庭と連携を図るための手だての研究

よく考えて学ぶ子 (知育)

よく考えて、課題解決のために粘り強く取り組むことができる

学力向上対策委員会の設置

パワーアップタイムを位置づけ、TTによる補充学習の実施
月例テストの実施と「がんばる須田っ子」を通じた家庭との連携
算数を中心としたTT授業の実施と、一部教科担任制の導入
読書タイムの位置づけと読書カードを利用した年間50冊読破の奨励
コンピュータ指導員を活用したパソコン学習の展開
担任とALTによる英語活動の実施

体力のある元気な子 (体育)

運動を好んで行い、自ら体をきたえることができる。

健康体力向上対策委員会の設置

欠席ゼロの日を目指す
週3回、業間マラソンを実施
朝、自主的に体を動かす「おはようランニング」の奨励
体育の授業の充実
担任と養護教諭の連携による保健学習の実施
○週1回(水曜)ロング昼休みの実施

組織目標

正しい児童理解をし、丈夫な体と豊かな心の育成に努める。

わかる授業を実践し、児童一人一人の学力向上を図る。

教育目標具現化に臨む教職員の姿勢

教職員としての自覚と使命感を持ち、児童一人一人を主体として、誰もが安心して明るく元気で楽しい学校生活のできる温もりのある学校をめざし、児童はもとより保護者及び地域の信頼と期待に応える教育活動の推進に努める。

<学力の向上に向けて>

- ・児童一人一人の能力の開発と学力の向上を図るため、一人一人を生かす教育を一層重視し、児童主体の学習形態を大切に、「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を満喫させながら、基礎的・基本的事項の定着に努め、自ら学ぶ学習態度の育成に努める。

<たくましい心の育成に向けて>

- ・児童の体位・体力の向上を図り、丈夫な体とたくましい心の育成に努めると共に、正しい児童理解と温かい教育愛を基盤とした教育活動を推進する。

<積極的生徒指導に向けて>

- ・重点課題・・・「早寝・早起き・朝ご飯」を合い言葉として、基本的な生活習慣の充実を努める。
- ・児童及び保護者との望ましい信頼関係のもと、好ましい人間関係づくりと自己指導能力を身に付けさせる取り組みに努める。

<児童の安全確保に向けて>

- ・安全教育及び避難訓練や安全点検を確実にを行い、児童の怪我や事故等の防止に万全を期す。
- ・不審者対策についての危機意識を高め、交通事故及び不審者に関わる事故の防止に努める。

<教職員の服務規律の確保に向けて>

- ・教職員としての自覚を高め、互いが信用失墜行為に対し注意し合える人間関係づくりに努める。
- ・「三ない運動」の推進に対し事の重大さを全員で認識を深め事故の防止に努める。
- ・「金銭管理」「個人情報管理」に万全を期し、事故防止に努める。